

平成27年6月19日

お客様各位

岡藤商事株式会社
日本フィナンシャルセキュリティーズ株式会社

金限日取引（東京ゴールドスポット100）取扱い開始について

平成27年5月7日に東京商品取引所において、金限日取引（東京ゴールドスポット100）が新たに上場され取引を開始しております。

岡藤商事(株)および日本フィナンシャルセキュリティーズ(株)の対面取引では取扱いをしておりませんでした。この度、平成27年6月22日の日中立会より、取扱いを開始し、お客様からのご注文をいただけることとなりましたので、お知らせいたします。

金限日取引（東京ゴールドスポット100）は、金の理論スポット価格を取引対象とする証拠金取引で、売り買いどちらからでも取引を始めることができ、ポジションは自動的に翌営業日に持ち越される決済期限のない取引です。

また、金限日取引（東京ゴールドスポット100）は、差金決済により取引を終了する商品設計となっておりますが、立会外取引の制度（EFP取引制度）を利用すれば100gの地金を購入・売却することができます。（岡藤商事および日本フィナンシャルセキュリティーズ(株)においては、平成27年6月19日現在、EFP取引を取扱っておりません。取扱いを開始する際には改めてお客様にご連絡をさせていただきます。）

金限日取引（東京ゴールドスポット100）の取引要綱につきましては別紙をご参照ください。

ご不明な点がございましたら、岡藤商事(株)および日本フィナンシャルセキュリティーズ(株)の取引担当者または管理部へお問い合わせください。

金限日取引（東京ゴールドスポット100）の取引要綱

取引の種類	限日現金決済先物取引
取引の対象	純度99.99%の金地金
売買仕法	システム売買による個別競争売買（ザラバ取引）
帳入値段	東京商品取引所の金標準取引の「1番限月」および「6番限月」の帳入値段を用いて東京商品取引所市場内のフォワードレートを算出し、当該レートを用いて、その日の1番限月の価格を納会日までの残日数相当分を現在価値に割引いて理論現物価格を算出する。 ただし、「1番限月」の納会日については、「2番限月」および「6番限月」の帳入値段を用いて東京商品取引所市場内のフォワードレートを算出し、当該レートを用いて理論現物価格を算出する。
取引の期限	1計算区域の立会時間において成立し、または1計算区域直前の計算区域の立会終了時におけるロールオーバーにより発生し、転売もしくは買戻し又は建玉が発生した計算区域の立会時間終了時におけるロールオーバーにより消滅する限日取引とする。
立会時間	夜間立会：午後4時30分～翌日午前4時 日中立会：午前9時00分～午後3時15分
取引単位	100グラム
呼値とその値段	1グラム当たり1円刻み
CB幅	夜間立会開始時に前計算区域の帳入値段を基に設定 (平成27年6月19日現在 150円)
証拠金	(株)日本商品清算機構が証拠金額計算の基礎となる値(PSR)を決定 (平成27年6月19日現在) PSR：9,600円 委託者証拠金維持額：10,000円 委託者証拠金必要額：12,000円
建玉数量の制限	なし。ただし、東京商品取引所が必要と認めた場合には設ける。

※ 委託手数料の額については、別途お取引開始前に取引担当者または管理部よりお伝えさせていただきます。

以上